

禽将棋

Tori Shogi

プレイ人数：2人用 / プレイ時間：約30分 / 対象年齢：6歳以上

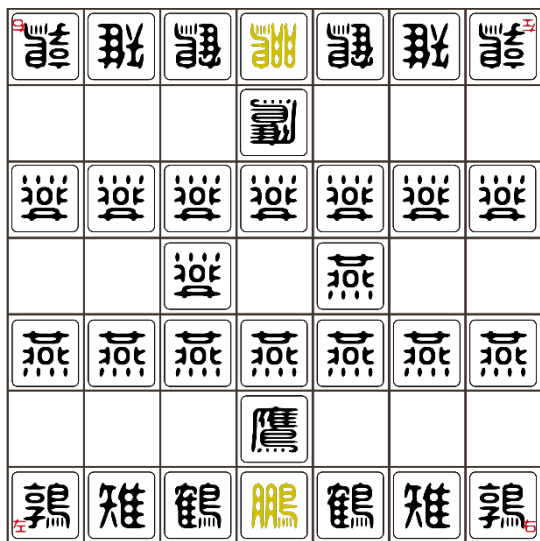
禽将棋（とりしょうぎ）は、江戸時代に豊田四郎兵衛によって考案された変則将棋です。通常の将棋（本将棋）よりも狭い7×7マスの盤を使用し、コマも鳥をモチーフにしたまったく動きの異なるものを使用します。ほとんどのコマが斜め方向の動きを持っているのが特徴で、これは鳥が獲物をねらう鋭い動きを思わせます。

コンポーネント

- ・ボード（7×7マス）
- ・駒 32枚 - 燕16、鶴4、雉4、鶺鴒（左・右）4、鷹2、鵬2。燕の裏は馬、鷹の裏は鶺鴒になっています。

セットアップ

以下のようにコマを配置します。「鶺鴒」の左右に気を付けてください。



ゲームプレイ

基本的なルールは本将棋と同じです。プレイヤーは交互に、以下のどちらかを行います。パスはできません。

- 1) 自分のコマの一つを、コマの動き（別紙）にしたがって動かす。移動先に相手のコマあった場合、捕獲して自分の持ち駒とします。
- 2) 持ち駒の一つを、任意の空きマスに自分のコマとして配置する（打つ）。

相手の「鶺鴒」が自分の駒の移動範囲に入ると王手となります。王手をかけられた場合、必ず王手から逃げる手を打たなくてはなりません。自分の「鶺鴒」が捕獲から逃れられない位置になった時点（詰み）で負けになります。

同じ手が3度繰り返された場合、その動きを始めた側のプレイヤーが手を変える必要があります。

コマの成り（昇進）

コマのうち「燕」と「鷹」のみ、より上位のコマに「成る」ことができます。これは敵陣（相手側の手前2列）に駒を進めたとき、その駒を裏返すことによって行います。

本将棋と異なり、禽将棋では「成り」は強制で、上記のコマが敵陣に入ったらただちに成らなくてはなりません。一度成ったコマは、相手に捕獲されない限りは成る前のコマに戻ることはできません。

禁止手

- ・自分の「燕」を同じ縦列に3枚置くことはできません。
- ・持ち駒を成りの状態で打つことはできません。
- ・「燕」を敵側の一番奥の列に打ってはいけません。
- ・持ち駒の「燕」を打って相手の「鶺鴒」を詰ませるのは禁止手です。もしこれによって詰ませた場合は自分の負けになります。即座に詰むのでなければ持ち駒の「燕」で王手をかけることは認められます。

Rulebook © 2022 Kanare Kato